

技術センターでは、今後の事業展開や業務改善に役立てるため、利用者の皆さまを対象に、利用目的や満足度、ご要望などについて伺う「利用者窓口アンケート」を実施しています。平成30年度の結果概要をお知らせします。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

1 調査対象

平成30年12月10日から平成31年2月22日の間に「技術相談、依頼試験、機器貸付」のいずれかを利用された方

2 回答数 227件

3 調査結果(概要)

回答者の所属事業所を所在地別に見ると、京都市内95社、京都府内(京都市を除く)は61社、京都府外は71社でした。(図1)

事業所の業種は、製造業が88%と最も多く、サービス業4%、卸売業・小売業4%、その他4%でした。製造業の内訳は、電気機械・電子部品が最も多く、化学・プラスチック・ゴム製品、鉄鋼・金属製品、汎用・生産用・業務用機械と続きました。

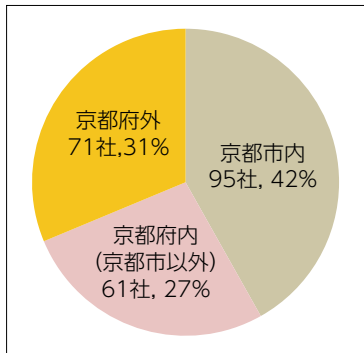


図1 所属事業所の所在地

今回利用の支援内容と満足度

機器貸付の利用が70%と最も多く、依頼試験22%、技術相談は5%でした。組み合わせでのご利用も3%ありました。(図2)

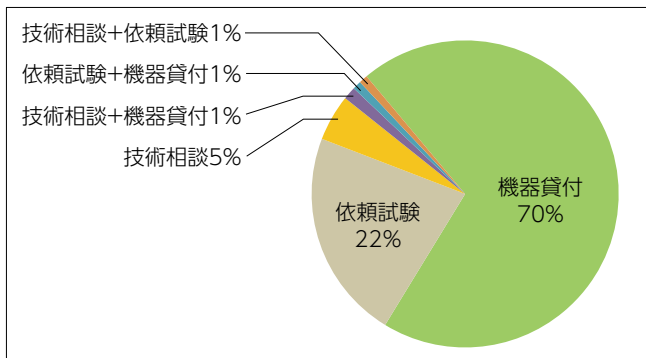


図2 ご利用いただいた支援内容

支援の満足度については、得られた成果92%、手続きの迅速性94%、接客対応95%、支援レベル93%と、いずれも高い評価をいただきました。(図3)

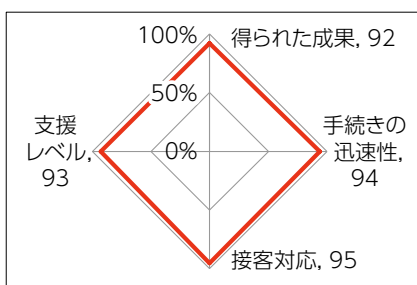


図3 ご利用の満足度

職員の良いと感じ

られたところを尋ねたところ、説明の分かりやすさ75%、アドバイスの的確さ40%などとなりました。(図4)

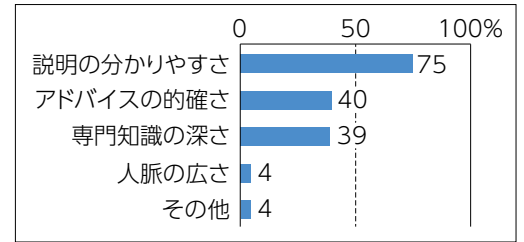


図4 職員の良いと感じられたところ

他の支援機関の利用

今回と同様の支援が必要な場合に利用される他機関を尋ねたところ、府外公設試の利用が40%と最も多く、京都市産業技術研究所28%、府外民間試験研究機関17%と続きました。府県を超えて利用されていることがうかがえます。(図5)

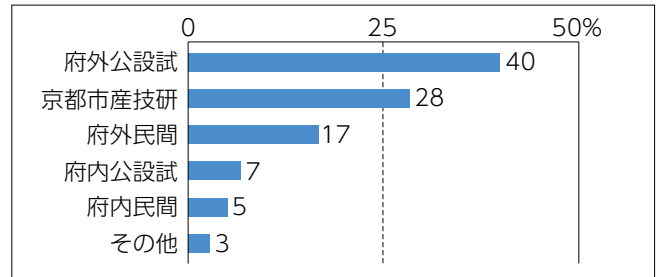


図5 利用される他機関

事業所所在地ごとでは、京都市内の企業は京都市産業技術研究所が最も多く、京都府内(京都市を除く)の企業と京都府外の企業は、府外公設試が最も多くなりました。

ご意見・ご要望

当センターに強化・充実を求められることを尋ねたところ、機器利用が87人と最も多く、技術相談56人、試験分析46人、セミナー・講習会44人と続きました。(図6)

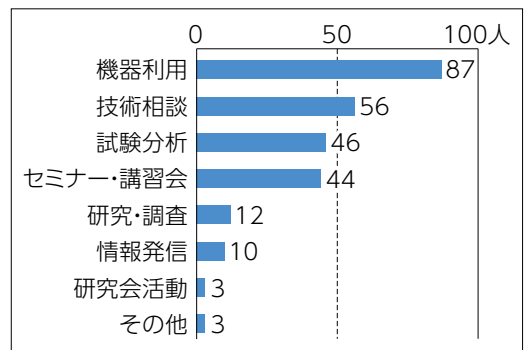


図6 強化・充実を求められること